



大和市立緑野小学校  
学校だより 12月号

# みどりの



令和2年11月30日

創立50周年式典

校長 稲葉 敦子

11月にしては暖かく、天気にも恵まれた21日に創立50周年式典を行うことができました。この日のために、一昨年度から過去10年間のPTA本部役員の方による実行委員会が発足され準備をしてきました。コロナ対策のため当初の予定より縮小し、式典には在校生を代表して6年生のみが参加し、1年生から5年生までは、教室のテレビで中継された式典の様子を見ることになりました。地域の方々にもたくさんご参列をしていただきかったのですが、それがかなわず心苦しく思っております。

さて、式典は、最初に5年生のお祝いの言葉をスカイプで各教室から式場に中継して始まりました。そして、校長・実行委員長・来賓の挨拶のあと、代表児童によるスローガンとキャラクターの紹介、「児童の言葉」として1年生から4年生がクラスごとにお祝いの言葉を述べたビデオを放送し、それをつないで6年生がお祝いの言葉をコールしました。最後は、6年生の合奏と歌による校歌を演奏し式典の第一部を終えました。第二部は、実行委員の方々が、工夫を凝らして作成されたスライドショーで緑野小学校の50年の歩みを振り返りました。

私は、式典のあいさつで児童に向けて次のようなことを話しました。

～式辞より抜粋～

緑野小学校は昭和46年、1971年4月1日に林間小学校から分かれて、開校しました。このころ中央林間のあたりは、人口がどんどん増え、保護者・地域の方々の強い要望で、林を切り開いて、緑野小学校ができることになりました。そのため、学校ができた頃、周りは林で囲まれていました。学校のマークである校章を見てください。この校章は、周りの緑や松の葉をデザインし、松の葉のように子どもたちがダイナミックに育つという願いがこめられています。ダイナミックとは力強く、生き生きと活動する様子です。

今年、コロナ対策のためにいろいろな行事ができなくなり、運動会も中止となりましたが、その代わりに体育発表会を行い、演技種目のダンスを一生懸命練習して発表しました。どの学年の発表もすばらしく、この校章に込められた願いのようにみなさんの力強くいきいきとした活動の様子を見ることができました。開校当時の願いが今も受け継がれていることを感じます。

そこで、50周年を迎えた記念すべき年に在校している皆さんに、これからも緑野小学校の良き伝統を残していくため、私から2つのことをお願いしたいと思います。

一つ目は「感謝の気持ちをもつ」ということです。緑野小学校ができた頃、保護者・地域の方々は自分たちの学校という強い意識と大変なことも子どもたちのためにと、校庭を使いやすいようにきれいにしてくださったり、木を植えてくださったりするなど環境を整備して緑野小学校を作ってくださいました。その思いは今も変わらず、毎日皆さんの登下校の安全を見守ってくださったり、学習のために学校に来て教えてくださったり、お手伝いをしてくださったり、多くの保護者・地域の方々が緑野小学校を支えてくださっています。学校や皆さんを支えてくださる方々に「ありがとうございます」という感謝の気持ちをもてる人になってください。

二つ目は、「夢をもつ」ということです。オリンピック選手の青木智美さんも「夢に向かって」というテーマでお話してくださいました。「目標をもつ」「失敗から学ぶ」「最後まであきらめない」ということが大事だというお話でした。夢や目標をもつことはとても大事なことです。たとえ、その夢がかなわなくても、夢に向かって全力で取り組んだことは皆さんの大きな力になり、これから先必ず役に立つはずで、ぜひ、夢や目標に向かって全力で努力をしてください。

そして、創立50周年のスローガンにも「みんなでつないだ50年 未来へつなごう希望のバトン」とあるように、緑野小学校の伝統や良いところをこれからも受け継ぎ、さらに素晴らしい緑野小学校の未来を作っていくてください。

式典を終え、改めて50年の歴史の重みと、これまで学校を支えてくださった保護者・地域の方々への感謝の気持ちを深くかみしめているところです。また、式典に参加した6年生の立派な態度と校歌の演奏のすばらしさ、スローガン・キャラクター紹介の児童代表による上手なスピーチ、映像で参加した1年生から5年生までの心を一つにしたお祝いの言葉にも感心し、心温まる式典となったことを大変嬉しく思いました。

式典に際し、実行委員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様には多大なるご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。